

# Arcserve UDP v6 動作要件

## (富士通追加要件)

2020年10月30日更新

- 基本的な動作要件は、以下の Arcserve 社サイトを参照ください。

Arcserve Unified Data Protection Version 6.0 動作要件

<https://support.arcserve.com/s/article/204760116?language=ja>

- 富士通が販売する Arcserve UDP v6 製品の動作要件は、Arcserve 社が公開している動作要件に、本ドキュメントの内容が追加されます。
- Arcserve UDP v6 Premium Plus Edition で、Arcserve High Availability r16.5 の機能を提供しています。
- Arcserve UDP v6 Premium Edition / Premium Plus Edition については、下記製品の動作要件もあわせて参照ください。

Arcserve Backup r17 for Windows 動作要件

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/backup/environment/>

Arcserve Replication r16.5 for Windows 動作要件

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/replication/environment/>

## 索引

- [適応機種](#)
- [仮想マシンへの導入について](#)
- [クラウドへの対応について](#)
  - [FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン対応](#)
  - [FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 仮想マシン対応](#)
- [Arcserve UDP Windows Agent](#)
- [Arcserve UDP Linux Agent](#)
- [FUJITSU Storage ETERNUS CS800 S6 デデュープアプライアンスの対応について](#)

## 適応機種

- Arcserve 社の動作要件に記載されたハードウェア要件を満たす、以下の機種をサポートします。
  - ・ FUJITSU Server PRIMERGY (PRIMECLUSTER 環境は除く)
- 他社 PC サーバーのサポート条件は、以下をご確認ください。

他社 PC サーバー上への Arcserve 製品の導入について

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/services>

## 仮想マシンへの導入について

仮想マシン上に製品を導入する場合の留意事項は以下のとおりです。

- VMware ESXi 無償版/無償エディションはサポートしません。
- VMware が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
  - ・ VMware vSphere vMotion における切り替え中の動作は保証しません。
  - ・ VMware vSphere High Availability における切り替え中の動作は保証しません。
  - ・ VMware vCenter Site Recovery Manager で本製品を使用する場合、保護サイトと復旧サイトのそれぞれに本製品を導入してください。
- Hyper-V が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
  - ・ ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。
  - ・ クイックマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。
  - ・ フェールオーバーにおける切り替え中の動作は保証しません。
- Linux 仮想マシン機能 (KVM) が提供する機能に関する留意事項は以下のとおりです。
  - ・ ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は保証しません。

## クラウドへの対応について

- 以下のクラウド環境をサポートします。対応する機能等の詳細は、それぞれのリンク先を参照ください。
  - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン対応](#)
  - ・ [FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 仮想マシン対応](#)
- クラウド上の仮想マシン上で製品を利用する場合、Arcserve UDP v6 が物理環境でサポートしている OS とアプリケーションをサポートします。
- 復旧ポイントサーバに集約したオンサイトのバックアップデータを、クラウド上に作成した復旧ポイントサーバへ遠隔転送する場合は、オンサイト側とクラウド側のそれぞれの復旧ポイントサーバ間で通信が行えるよう、プライベート接続できる環境が必要です。

## FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン対応

FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントおよび機能の利用をサポートします。
  - ・ Arcserve UDP Windows Agent
  - ・ Arcserve UDP Linux Agent  
(注) パスワード認証の環境においてサポート
  - ・ Arcserve UDP コンソール
  - ・ Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ
- 以下の機能は対応していません。
  - ・ ベアメタル リカバリによるシステム復旧
  - ・ テープへのバックアップ
  - ・ エージェントレスバックアップ
  - ・ 仮想スタンバイ
  - ・ インスタント VM
  - ・ High Availability

## FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 仮想マシン対応

---

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O 仮想マシン上での利用を、以下の条件でサポートします。

- 以下のコンポーネントの利用をサポートします。
  - ・ Arcserve UDP Windows Agent
  - ・ Arcserve UDP Linux Agent  
(注) パスワード認証の環境においてサポート
  - ・ Arcserve UDP コンソール
  - ・ Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ
- 以下の機能は対応していません。
  - ・ ベアメタル リカバリによるシステム復旧
  - ・ テープへのバックアップ
  - ・ エージェントレスバックアップ
  - ・ 仮想スタンバイ
  - ・ インスタント VM
  - ・ High Availability

## Arcserve UDP Windows Agent

---

- 以下の環境および機能は対応していません。
  - ・ Windows Server 2003/Windows Server 2003 R2 環境
  - ・ クライアント OS (Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10) 環境
  - ・ USB メモリをベアメタル リカバリ用メディアとする運用
- 以下の機能は、復旧ポイントサーバ (RPS : Recovery Point Server) へのバックアップ運用時のみ提供します。
  - ・ 重複排除機能
  - ・ レプリケート
- 物理マシンから仮想マシンへのベアメタル リカバリ (P2V : Physical to Virtual) 、インスタント VM、および 仮想スタンバイ機能では、仮想マシン上での OS 起動までを提供します。アプリケーションの起動等、その後の OS の動作は保証しません。

## Arcserve UDP Linux Agent

- サポートするディストリビューションは、以下のとおりです。
  - ・ Red Hat
- 以下の環境および機能は対応していません。
  - ・ クラスター環境
  - ・ 暗号化されたボリュームのバックアップ
  - ・ RAW デバイス領域のバックアップ
  - ・ 仮想スタンバイ機能
  - ・ リモートディスク（クラウドストレージを含む）へのファイル コピー機能、および、ファイル アーカイブ機能
  - ・ 復旧ポイントのコピー機能
- 以下の機能は、復旧ポイントサーバ（RPS : Recovery Point Server）へのバックアップ運用時のみ提供します。
  - ・ 重複排除機能
  - ・ 継続的な増分バックアップ
  - ・ テープへの二次バックアップ
  - ・ レプリケート

## FUJITSU Storage ETERNUS CS800 S6 デデュープアプライアンスの対応について

バックアップデータの格納先として、FUJITSU Storage ETERNUS CS800 S6 デデュープアプライアンスの利用を、以下の条件でサポートします。

- Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ（RPS : Recovery Point Server）のデータストアとして設定する場合、データのデデュプリケーション（重複排除）機能は使用しないでください。